

安全保障関連法に反対する学者の会 主催
「日本社会をどう創り変えるか——市民・科学・未来」報告 2022.3.12.

市民運動が創る新しい社会

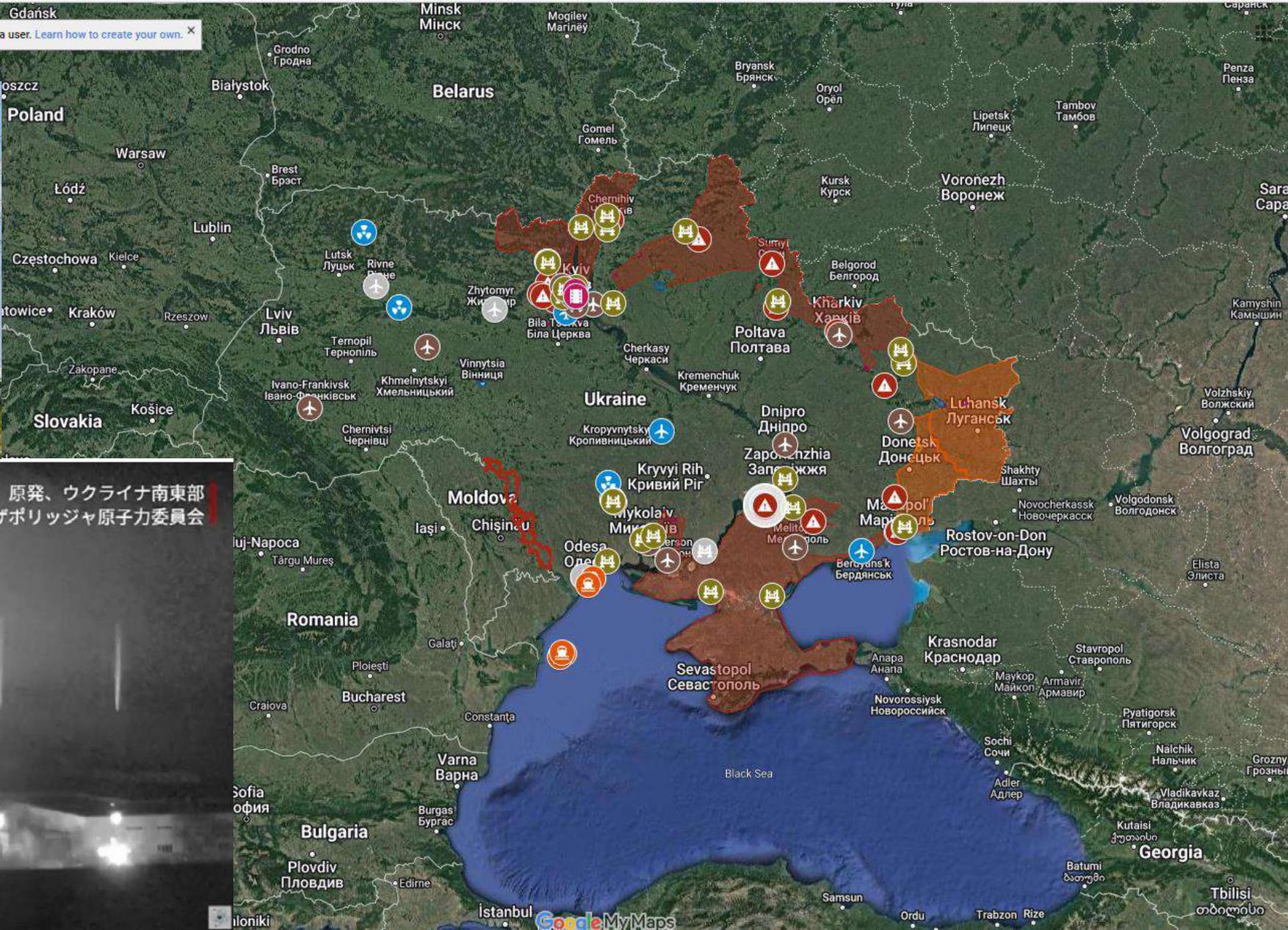
新潟の経験から

佐々木 寛

新潟国際情報大学

【衝撃】 ロシアプーチン政権のウクライナ軍事侵攻と原発への攻撃 (2022.3.3.)

Ukraine Control Map continuously updated by people at Project Owl OSINT 2022.3.4.



ザポリジヤ (ザポロジエ) 原発、ウクライナ南東部
ザポリジヤ原子力委員会

戦争と原発という問題。 核兵器／原発

原発はエネルギー問題であるだけでなく、安全保障問題。

	号機	炉型	電気出力 MW	建設開始	運転開始 (初併入)	運転期間終了 設定	寿命延長 (年数)
ザポロジエ原発 Zaporozhe NPP ザポリージャ州 エネルゴダル市	1	VVER-1000/320	1000	1980.4	1984.12.10	2015.12.23	2025.12.23(10)
	2	VVER-1000/320	1000	1981.4	1985.7.22	2015.2.19	2025.2.19(10)
	3	VVER-1000/320	1000	1982.4	1986.12.10	2017.3.5	作業中
	4	VVER-1000/320	1000	1984.1	1987.12.18	2018.4.4	作業中
	5	VVER-1000/320	1000	1985.7	1989.8.14	2020.5.27	計画中
	6	VVER-1000/320	1000	1986.6	1995.10.19	2026.10.21	計画中
ロブノ原発 Rovno NPP ロブノ州 カスネフスカ市	1	VVER-440/213	420	1976.8	1980.12.22	2010.12.22	2030.12.22(20)
	2	VVER-440/213	415	1977.10	1981.12.22	2011.12.22	2031.12.22(20)
	3	VVER-1000/320	1000	1981.2	1986.12.21	2017.12.11	作業中
	4	VVER-1000/320	1000	1986.8	2004.10.10	2035.6.7	計画中
南ウクライナ原発 South Ukraine NPP ニコラエフ州 コジウクリンスク市	1	VVER-1000/302	1000	1977.3	1982.12.31	2013.12.2	2023.12.2(10)
	2	VVER-1000/338	1000	1979.10	1985.1.6	2015.5.12	2025.12.31(10)
	3	VVER-1000/320	1000	1985.2	1989.9.20	2020.2.10	作業中
フメルニツキ原発 Khmelnitski NPP フメルニルキ州 ネティシン市	1	VVER-1000/320	1000	1981.11	1987.12.22	2018.12.13	作業中
	2	VVER-1000/320	1000	1985.2	2004.8.7	2035.9.7	計画中
			13,835				

出典：『ウクライナの電力・原子力事情』原子力産業協会 2017年

ウクライナは現在も原子力発電に深く依存。チェルノブイリ原発の発電は2000年に停止されたが、それ以外の4箇所の原発で15の原子炉が稼働中。50%以上の電力を国内の原発から調達。サポロジエ原発は欧州最大。



軍事紛争になった場合、真っ先にロシアの攻撃目標になったのが原発。



フメルニツキ原発



柏崎刈羽原発 820万KW



抵抗：市民に何ができるか。
新潟からのレポート。

日本の立憲主義・平和主義が死んだ日



安保関連法強行採決
9/17, 2015.



2016年1月18日 記者会見（70団体 175名の賛同）



「新潟の奇跡」のはじまり——2016年2月19日



候補者選定への市民の関与。

政策協定（森ゆうこさんと。）



2016年4月27日（出馬会見）



連合と共産党
が初めて同席。

参院選当選。(2279票差)



争点

● 安保関連法
(平和)

● TPP

→ 保守の分裂

2016年新潟県知事選——「新しいリーダーを誕生させる会」の結成



新しいぶどう酒
は新しい革袋に。

驚くほどの街頭の反応



権力にすり寄る政治ではなく、県民に寄り添う知事を！

未来への責任

権力にすり寄る知事ではなく 県民に寄り添う知事を!

規制委員会の適合審査が終われば、再稼動には知事同意が必要です。新しい若きリーダー（医師・弁護士）は、「福島原発事故の検証・総括なしに再稼動の議論はできない」という泉田知事の路線を引き継ぎ、再稼動に同意しません。

柏崎刈羽原発は福島第一と同じ沸騰水型で、世界最大の集中立地、活断層が指摘され、大量の地下水流入も明らかになっています。猛暑だったこの夏も東京の電気は足りており、柏崎刈羽原発を再稼動する必要はありません。

自民党・公明党推薦の元長岡市長は、「県民の安全確保を最優先」などと抽象的に述べるもの。「再稼動に同意できない」とは語りません。官邸、与党、電力資本などの「原子カムフラ」にかつがれているからです。

東京へ電気を送る世界最大の柏崎刈羽原発の
再稼動に同意しません!

医師
弁護士

約6万票の差をつけて勝利！ 事実上の原発住民投票。

新知事に米山氏

新潟日報

〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1

新潟日報社

〒950-1189 新潟市西区善久772-2

2016年(平成28年)
10月17日
月曜日

山口大
文化の記憶

貧乏な詩人よ働かう！ 毛虫は休なく
苦勞して 豊麗な蝶になる

冒頭に「働く事は金持をつくる」。自身を重ね合わせ、訳したのかも。「貧乏な詩人よ働かう！」に実感がこもる。アポリネールの翻訳詩「毛虫」。

監修・長岡★山口大を語る会

10月22日 祭 23日

新潟経営大学

オアシスパス 同時開催

知事選関連

- ② 与党敗北 政権に激震
- ③ 無党派・民進票取り込む
- ④ 再稼働 厳しい民意
- ⑤ 「新しい県政の一步に」

柏崎再稼働に

森氏と6万票差 野党

任期満了に伴う第20回県知事選は16日投票され、無所属新人で医師の米山隆一氏(49)が、自民、公明推薦に約6万票の差をつけて初当選した。米山氏は東京電力柏崎刈羽原発の再稼働に否定的な考えを前面に打ち出し、反対の民意が示された形。国が進める再稼働が困難になる可能性がある。

新知事の誕生は12年ぶり
で、本県初の野党系となった。共産党の推薦を受けた知事も初。森氏を推した自民党は県議会の約3分の2を占めており、原発再稼働問題をはじめ、人口減少、経済活性化といった課題が民団体などが支援した。



知事選で初当選し万歳する米山隆一氏(中央右)＝16日午後9時20分ごろ、新潟市中央区館1の選挙事務所

【米山氏略歴】医師、弁護士、民進党衆院議員、魚沼市、灘高、東大医学部卒、東大大学院5区総支部長、ハーバード大付属総合病院研究員、放射線医学総合研究所職員、日本維新の会から計4回出馬。

問題

自主投票が終盤、野党候補を擁護した。野党候補を擁護した。野党候補を擁護した。

長

33 6

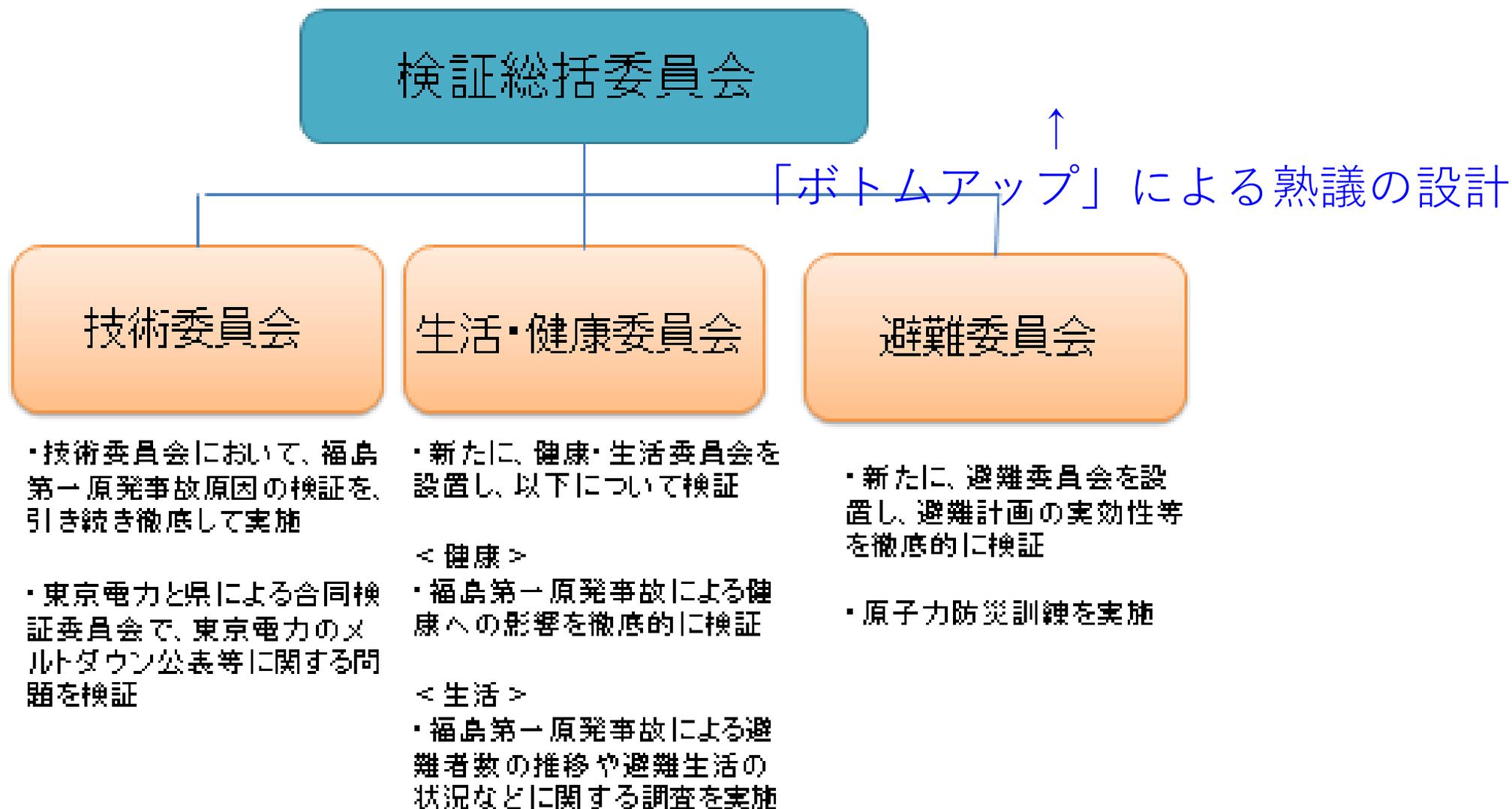
知事選結果（投票率53.05% 前回比+9.1ポイント）

「新潟の奇跡」の秘密。

候補者名	年齢	所属党派	新旧別	得票数	得票率	推薦・支持
米山隆一	49	無所属	新	528,455票	52.2%	（推薦） 日本共産党 、 自由党 、 社会民主党 、 新社会党 、 緑の党
森民夫	67	無所属	新	465,044票	45.9%	（推薦） 自由民主党 、 公明党
後藤浩昌	55	無所属	新	11,086票	1.1%	
三村誉一	70	無所属	新	8,704票	0.9%	

新潟県原発検証委員会（2017年～）の誕生。

<3つの検証体制>



「3・11」（福島原発事故）のそれまでの4検証

- 政府事故調 【畑村洋太郎】委員長 ⇒ 2012年7月終了。
※「吉田調書」
- 国会事故調 【黒川清】委員長 ⇒ 2012年10月終了。
- 民間事故調（福島原発事故独立検証委員会）
日本再建イニシアチブ【船橋洋一】理事長・【北澤宏一】委員長 ⇒ 2012年2月終了。
cf. その他、「大前レポート」 etc.
- 東電事故調 ⇒ 2012年6月終了。

★ すべて2012年中に終了。それ以降、包括的な検証はなされてこなかった。

また、どれも、<中央>による検証。

新潟県原発検証委員会は、<地域>からのボトムアップの検証の試み。

「新潟県民のための検証」（池内了 検証総括委員長）

米山知事辞任——驚くほど準備が早かった相手陣営



- 市民による政治家監視の限界
- 政治的決断の困難
- 国家権力の影

2018年県知事選——池田ちかこさん立候補。政策発表。



5月8日（火曜日）出馬会見

5月16日（水曜日）政策発表



地元ちかこさんを県知事に！



市民街宣
「新潟のことは新潟決める」



惜敗！（37,102票差）。

6月10日投開票

100% 脱原発 VS かもしれない脱原発

決断できるリーダー。

LOVE 原発

池田ちかこ

花角英世

#新潟のことは新潟で決める

とりあえず必要

509568票

546670票

「争点隠し」と「抱き着き」戦略 ～ 検証委員会は公約に。

「オール新潟」で、より
良い新潟にしませんか？

県民信頼度ナンバーワンの
県政を実現する会



県民信頼度ナンバーワンの県政。



はなすみ ひでよ
花角英世さんと共に
実現しよう!

昭和33年5月	新潟県佐渡生まれ	■家族/妻-娘二人
昭和52年3月	新潟県立新潟高等学校卒業	■趣味/山歩き・街歩き
昭和57年3月	東京大学法学部卒業	
昭和57年4月	運輸省入省(現国土交通省)	
平成20年7月	国土交通省総合政策局観光政策課長	
平成20年10月	観光庁総務課長	
平成25年4月	新潟県副知事	
平成27年9月	海上保安庁次長(平成30年5月退官)	

今すぐ取り組むべき課題は山ほどあります。

その中から5つの全力!を掲げてみます。

○原発は3つの検証をしっかりと進め、将来的には脱原発社会に全力

原発については3つの検証(福島原発事故の原因、健康・生活への影響、避難計画)をしっかりと進め、その結果を見極めます。将来的には原発に依存しない社会を目指し、県民の安全・安心を守ります。

○自助・共助・公助の連携と絆を深めることで地域力を強化し、防犯、防災など県民の安心安全に全力

子供はもとよりお年寄りに至るまで、全ての県民の安心のために、自助、共助、公助の連携で皆さんの絆を深め、地域力を高めることで防犯、防災、安心な生活の実現に努めます。



○知事は新潟ブランドの発掘・育成・セールスに全力

新潟には美しい自然、豊かな食文化などたくさんの宝があります。しかしながら現状はそれらが必ずしも生かされていません。知事はこれら新潟ブランドセールスの先頭に立ち、新潟に人を呼び込み、雇用を増やすことに全力を尽します。



○活力みなぎる新潟の実現に全力

起業・創業に挑戦する人、事業拡大を目指す中小企業、新たに農業に取り組む人、街おこし・地域づくりに取り組む人など新潟でチャレンジする人を応援し、活力みなぎる新潟を目指します。



○若者、子育て世代、お年寄りなど全ての世代が生き生きとくらせる社会の実現に全力

それぞれの世代の「思いや願い」に丁寧に耳を傾け、声の小さい方々にも寄り添い、一つ一つ丁寧に課題に向かって取り組む県政の実現を目指します。

県民信頼度ナンバーワンの県政を実現する会

相手候補の徹底した組織選挙と広報戦略



1951年生まれ（67歳）。東京都知事選挙の石原慎太郎、舛添要一、神奈川県知事選挙の黒岩祐治、千葉県知事選挙の森田健作、新潟県知事選挙の泉田裕彦、山口県知事選挙の山本繁太郎、沖縄県知事選挙の仲井眞弘多他、数多くの首長、衆参国会議員等のプランナーを務め、勝率は9割という。

原発廃止！！



安中聡候補 45628票

政府の第5次エネルギー基本計画（2018年7月3日閣議決定）

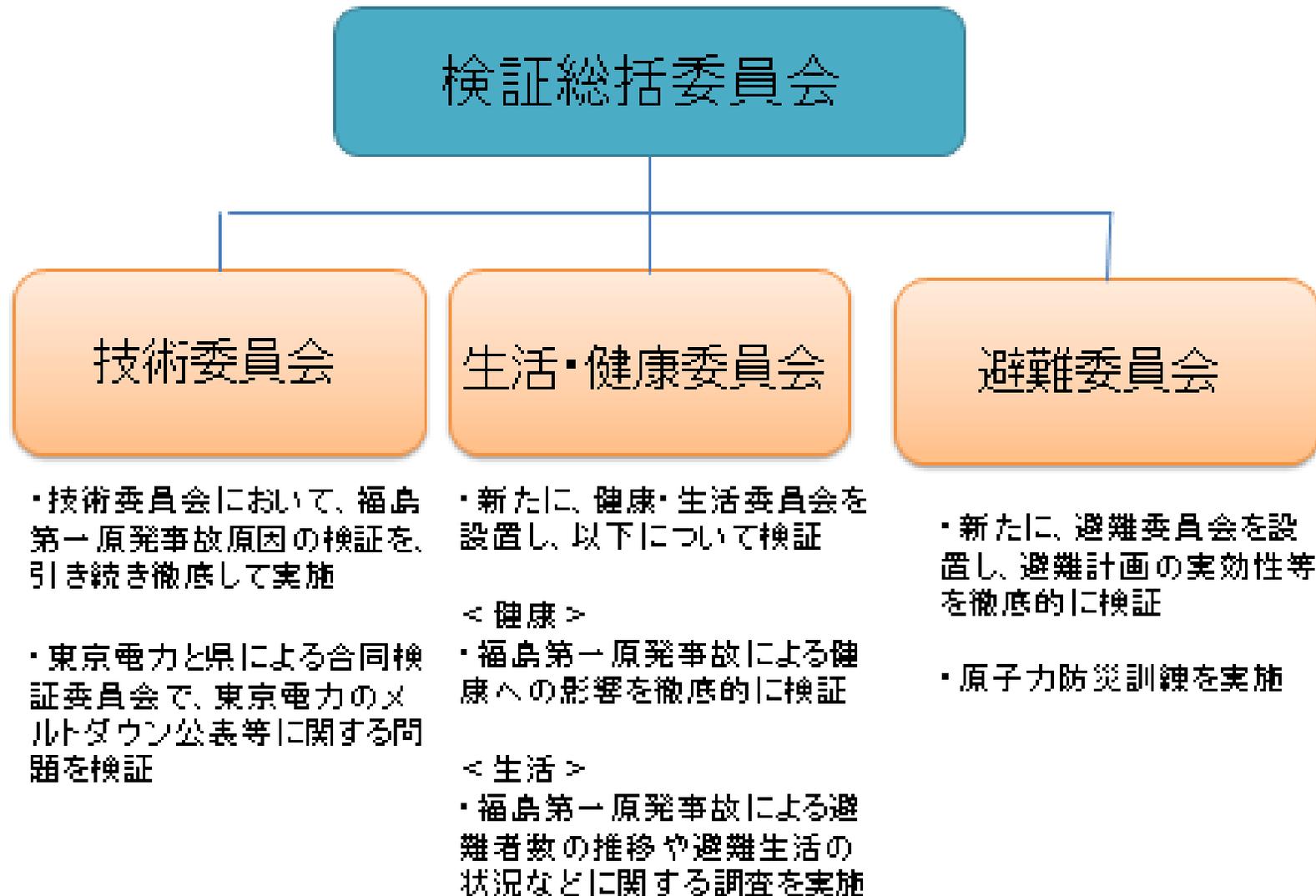
- 原子力は、あいかわらず、「ベースロード電源」。
- 2030年の電源構成は、**原発20-22%**、
再生可能エネルギー22-24%

⇒ 原発は現在2%。それを20%にするためには、運転開始40年未満の原発をすべて再稼働させ、新設しなければ40年超の老朽原発も再稼働が必要になる。**新潟の柏崎刈羽原発の再稼働も大前提。**

※ **第6次エネルギー基本計画**（2021年）：再生可能エネルギーは、36%-38%に引き上げ、火力発電は56%から41%に大幅引き下げるも、**原子力は20%-22%と同じ水準。**

生き残った、新潟県原発検証委員会

<3つの検証体制>



「検証総括委員会」の委員（7名）

- 池内 了（名古屋大学名誉教授） 【委員長】
- 中島 健（京都大学原子炉実験所 副所長） 【副委員長】
- 藤澤 延行（新潟大学自然科学系（工学部）教授）
- 鈴木 宏（新潟青陵大学 副学長）
- 松井 克浩（新潟大学副学長 人文学部教授）
- 関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 特任准教授）
- 佐々木 寛（新潟国際情報大学 国際学部教授）

背景——加速する再稼働への動き（2020年秋～）



池内了 検証総括委員長

- 科学的立場から、最終的に再稼働の是非についての「参考意見」を述べます。
- タウンミーティングのような住民の声を反映させた検証にしたいと思います。
- 検証は最短でも2022年まではかかるでしょう。

●資源エネルギー庁幹部の度重なる訪問（1年で80回。2020年9月が最も多い15回、次いで10月が11回）

●東京商工会議所の三村明夫会頭の柏崎訪問（2020.12.14.）

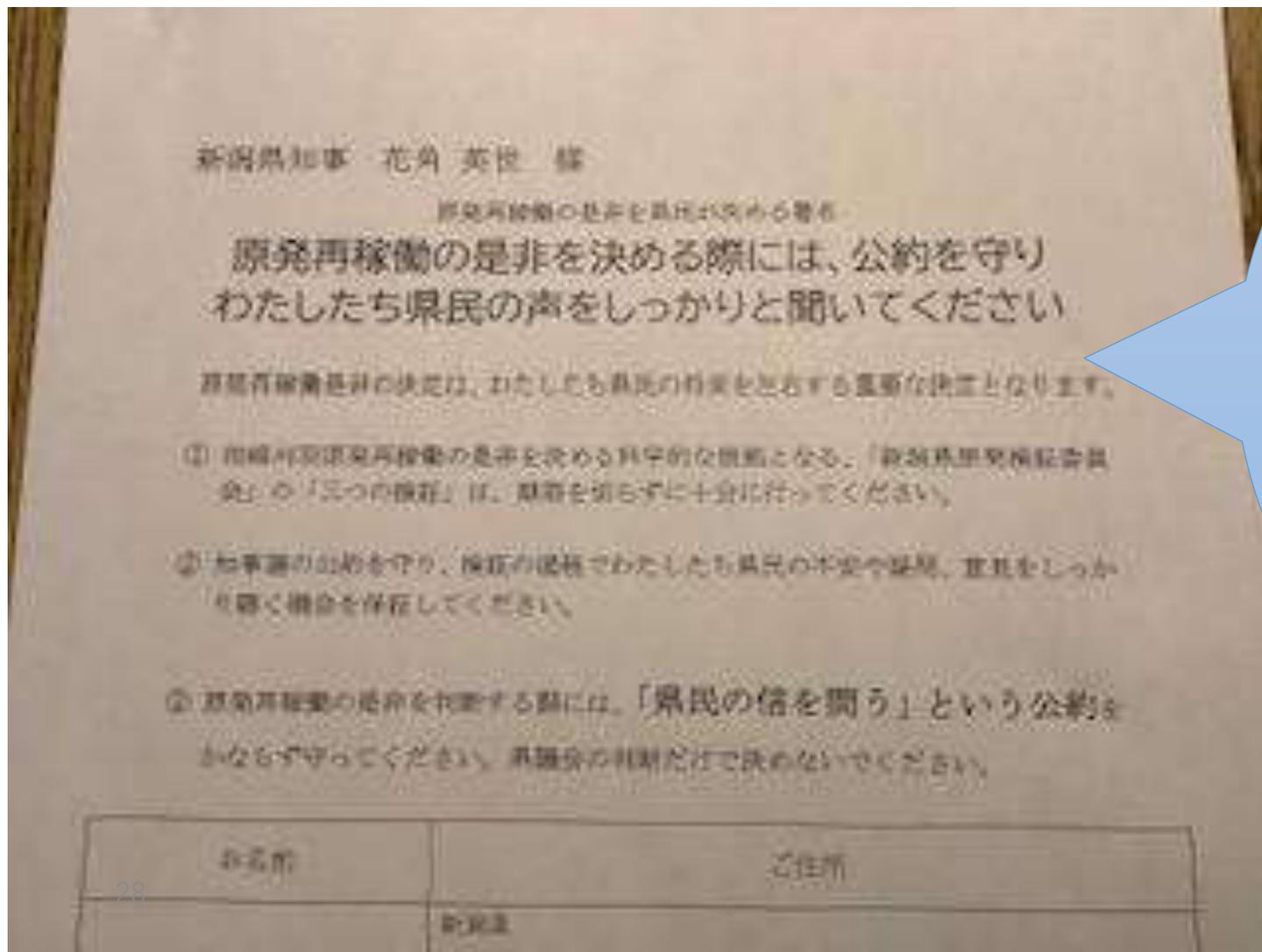
●県議会で自民県議が池内了検証総括委員長を批判（2020.12.14.）

●避難委員会で県の「取りまとめ」方針の表明と、委員からの強い反対 「幕引き」を図る県の姿勢（2020.12.22.）

●技術委員会の委員不再任問題 「高齢」が理由だが、原発に厳しい意見を言っていた委員の不再任（2021.1.～）

●技術委員会の2つの小委員会における委員不在問題（2021.4.～）

※ 新潟県知事に向けた署名活動の開始 (2021年3月～)



「原発再稼働の是非を決める際には、公約を守り、わたしたち県民の声をしっかりと聞いてください」

- 「三つの検証」は期限を切らずに
- 検証の過程で住民の声を
- 県民の信を問うという公約を守って
→ 県議会の承認だけではダメです

東電「適格性」への疑い——再稼動日程「未定」に

- 2020年9月20日 IDカード不正使用

※ テロリズム問題！

○ 同年9月23日 規制委員会が東電の「適格性」を承認

○ 同年9月30日 規制委員会が東電の保安規定を認可 国の審査終了

- 2021年1月13日 東電、安全対策工事完了と発表

-
- 同年1月23日 IDカード不正使用問題が発覚

- 同年1月27日 6・7号機共用の中央制御室で工事の一部未完了が判明

- 同年2月15日 東電、7号機原子炉建屋の火災感知器設置工事の未完了を発表

- 同年2月26日 東電、7号機原子炉建屋の配管周辺の止水工事未完了を発表

- 同年3月3日 東電、7号機中枢建屋火災防護対策工事未完了を発表

- 同年6月10日 東電 7号機の安全対策工事、新たに72カ所で工事漏れが判明したと発表…。

→ 自民党県連・地元商工会議所・柏崎市長からも強い批判。

(ex.新潟柏崎発 東電設置許可取り消しを求める署名)

検証の課題 —— 住民参加／民主主義

- 検証委員会に関する住民の認知度の低さ。

グリーンピースの調査で、**約7割の市民が存在を知らない**という現実。

(30キロ圏内住民1000人アンケート調査)

「調査結果では、新潟県に設置された「福島第一原発の事故原因の検証」、「原発事故が健康と生活に及ぼす影響の検証」、「万一原発事故が起こった場合の安全な避難方法の検証」を行う3つの委員会の存在を6～8割弱（それぞれ、59.8%、73.1%、76.8%）が、知らないことがわかりました。ただ、検証委員会の設置については、約7割近くが賛成しており、同委員会が30キロ圏内住民にとって、重要な取り組みであることが、改めて確認できるものとなりました。」

- **当事者意識**をいかにもつか。 ex.各地域・施設における**マイクロ・レベルの避難計画**の実効性の検証

ex.**UPZ議員研究会**の挑戦（新たな安全協定を目指して）

- 検証の過程で、どのように住民の意見を取り入れ、**熟議**が可能になるか。

ex.**オンライン・タウンミーティング**

- 検証をどのように活かすのか。 ex.「**県民に信を問う**」（花角知事の公約）の意味。

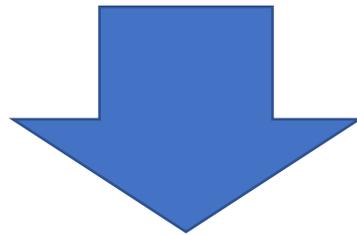
→ 県議会の判断だけ（**女川方式**）では、「信を問う」ことにはならない！

- 検証委員会のもともとの存在意義について。（**エネルギー民主主義**）

cf. 拙稿「『エネルギー・デモクラシー』の挑戦——新潟県の原発検証委員会について」『日本原子力学会誌』 Vol.59, No.12, 2017.

観客民主主義からの脱却—「市民政治」の次元

観客民主主義
評論家民主主義
消費者民主主義



参加民主主義
政治の“生産者”としての「市民」

これまでのことはコレに書いてあります。



“〈凡人のオプティミズム〉と
〈方法的な模索〉”

(高畠通敏)

2017年衆議院選挙 市民+オール野党 (10月7日@長岡)



2017年10月10日 新潟1区 西村ちなみ候補 第一声



どの候補も「希望の党」からは出馬せず。

4勝2敗！

1区



2区



3区

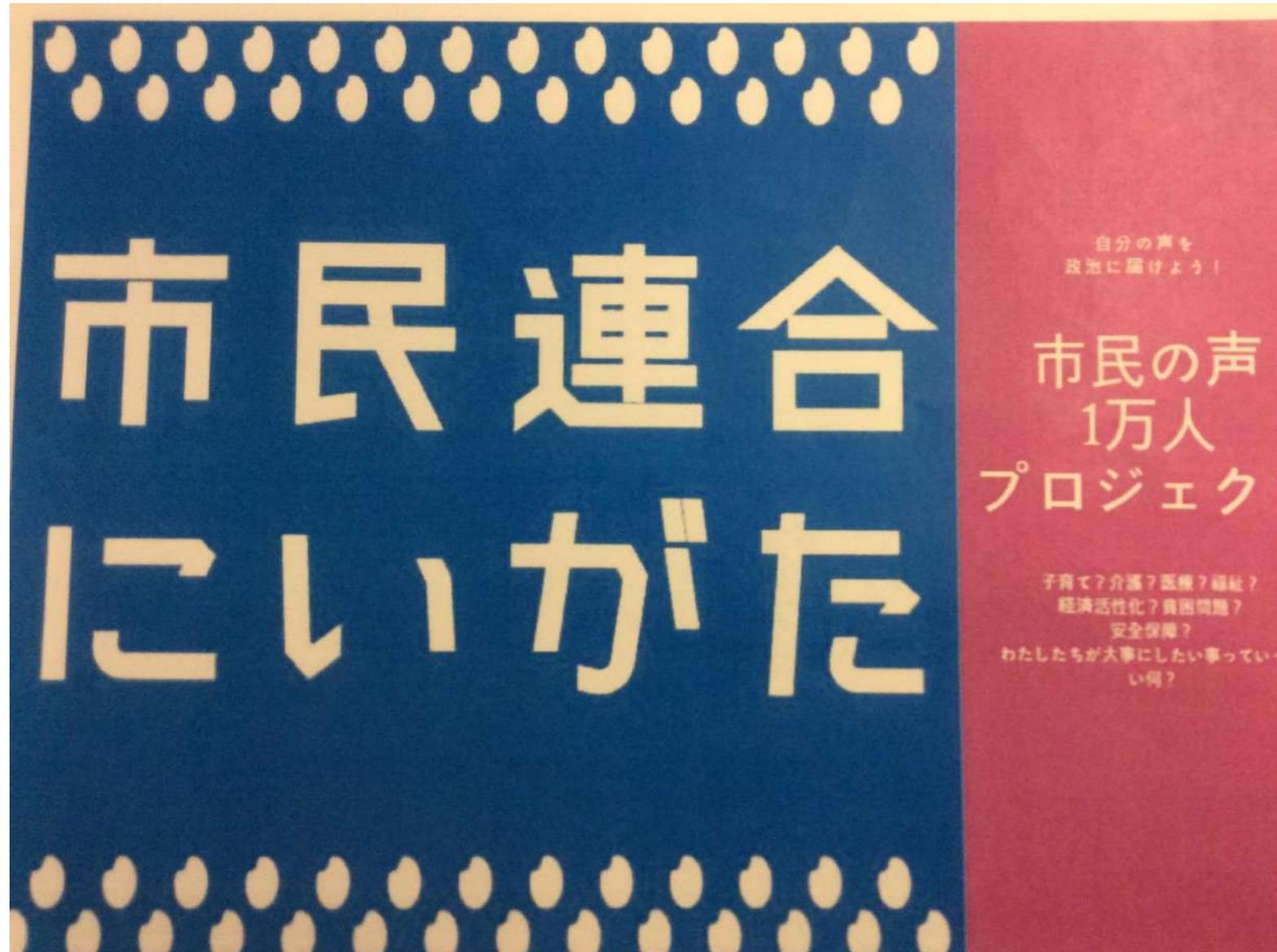


4区



3度目の勝利。

政策は市民がつくる——市民の声1万人プロジェクト



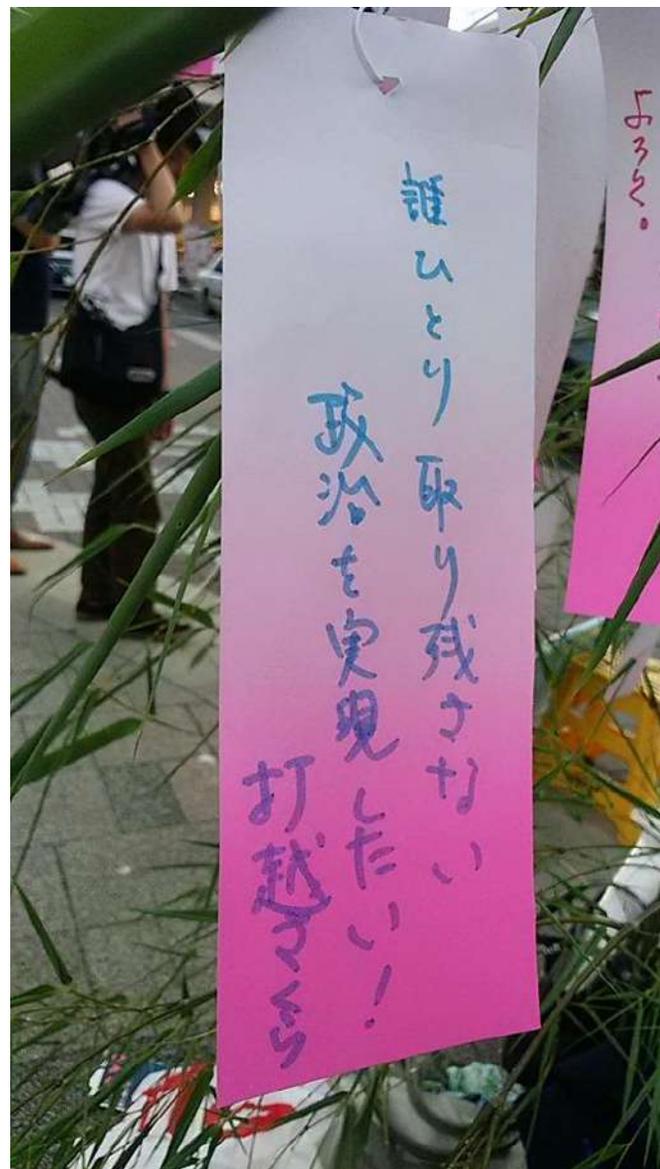
サンタクロースになって…。 12月24日



うち越さくらさん、出馬記者会見（5月11日）



市民連合@新潟 七夕プロジェクト



当選！（521717 対 479050 投票率55.31%）



市民連合 よろこびのあいさつ





※ すべての野党候補と市民連合との政策調印式は、

2021年10月1日@長岡を予定。

あいにく、第2区は、国民民主と共産党の2人の候補が出馬し、未調の状態。

次期衆院選に向けて。市民連合@新潟・政策要望

2020年8月3日

2021衆院選に向けて。市民連合@新潟・政策要望 —新型コロナウイルス感染症に負けず、希望がもてる社会のために—

新型コロナウイルスの猛威は、未だに終息の見通しが立ちません。一方、政治の機能不全は目を覆うばかりで、多くの市民はもはや政治そのものに希望を見失っています。

新型コロナウイルスの危機は、それまでの社会が内側にもっていた深刻な問題点も浮き彫りにしました。「自己責任」や競争原理が過度に強調され、弱者や少数者が見捨てられる格差社会。「今だけ、カネだけ、自分だけ」といった殺伐とした気分を醸成する分断社会。支え合い、つながり合うのではなく、「社会的孤立」や「孤独死」を大量に生み出す無縁社会…。このような、つまりは人間の尊厳やいのち、人間らしい生き方を根源から破壊する「新自由主義」の問題性が、新型ウイルスの惨禍によって一層表面化したと言えます。

私たち市民連合は、設立当初から、戦争へと向かう安保法制の廃止、そして法や正義にもとづく最低限のまともな政治を求めてきました。しかし、その願いは未だに果たされず、当時から個人の尊厳や民主主義を軽視してきた同じ政権によって、現在の見通しがもてないウイルス禍の閉塞状況に直面しています。

私たちは、**政治をあきらめません**。新型コロナウイルスの危機を克服し、少しでも希望が持てる人間的な社会を取りもどすためには、政治の力を無視することはできないからです。政治の私物化と劣化によってもたらされたこの国の経済や道徳の荒廃を立て直すのも、やはり市民の参加による政治の再生において他にありません。次の衆議院選挙においても、私たちは引き続き、新しい社会を目指す全ての政党や関係者に呼びかけ、再び新潟から全国に希望を発信できるよう、下記の政策のもとに結束することを要望します。

- 1 **くらしの安心と安全をとりもどす**
- 2 **ときめく新潟の未来——地域から希望をつくるグリーン・ニューディール**
- 3 **人間らしく生きられる社会へ——誠実な努力が報われる社会**
- 4 **基本的なルール（立憲主義）を守る開かれた政治**
- 5 **わたしが決める、わたしがつくる——政治を市民にとりもどす**

号砲。 自治労の決起集会 6区すべての候補者出揃う。 7月22日



立憲の菊田氏が 市民団体と協定
 次の衆院選向け

次の衆院選に向けて新潟4区の菊田真紀子衆院議員（立憲民主党）と市民団体の「市民連合@新潟」が17日、三条市で政策協定を締結した。

政策協定では、「原発ゼロ」と再生可能エネルギーへの転換、憲法9条の改正

反対などを盛り込んでい
 る。市民連合は野党統一候
 補の擁立をめざし各選挙区
 の候補者と協定締結を進め
 ている。

菊田氏は、自民党が原発
 の増設や建て替えを推進
 する議員連盟を設立したこ
 とを指摘。東京電力柏崎刈
 羽原発の一連の問題を挙
 げて「自民党も今は東電を
 批判しているが、やがて再
 稼働に賛成か反対か問われ
 ることになる」と訴えた。

新潟4区では自民党の国
 定勇人氏が立候補を予定し
 ている。

潮	気温	4月17日	
19日・小潮	新潟	長岡	相川
新潟港	最高	15.3	16.7
17.00	最低	11.5	11.6
満潮	最高	13.1	12.0
干潮	最低	11.2	12.9
1.29	最高	15.5	17.2
	最低	10.5	10.7
		11.2	12.9
		16.3	16.6

4月17日 4区 菊田真紀子候補（朝日新聞）



2区 平あやこ候補 3区 黒岩宇洋候補 6区 梅谷守候補 9月24日 5区 米山隆一候補 9月25日 1区 西村ちなみ候補

国民民主問題と苦肉の策：市民連合主催の2区公開討論会（2021年8月14日）

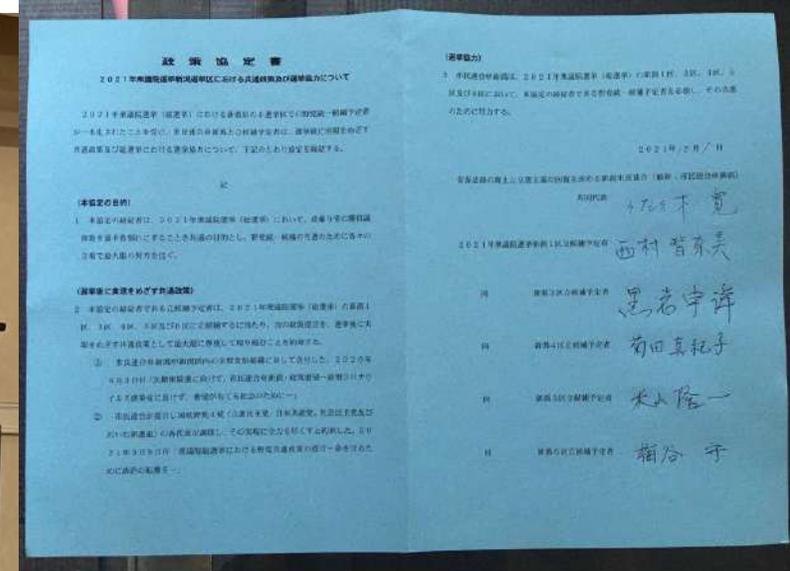
●共産党：平あやこ 候補

●国民民主：高倉栄 候補

※ただ、高倉氏は、中央で調整が進めば、野党共闘のために降りる用意はできているとの発言。

いつもの全野党候補参加による政策協定

2021年10月1日@長岡



2021年 衆院選新潟選挙区——市民と野党の共闘（新潟モデル）の勝利。

4勝2敗。あえて空気を読まない新潟。

1区



立憲民主党幹事長へ

4区



立憲民主党
新潟県連代表へ

5区



振り返り

6区



惜敗。

2区

3区



国政選挙、野党共闘4連勝。

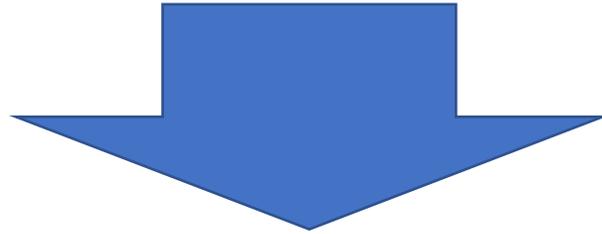


民主主義の下部構造をつくる
「脱原発型社会」へ

※ 選挙は「定期試験」にすぎない。

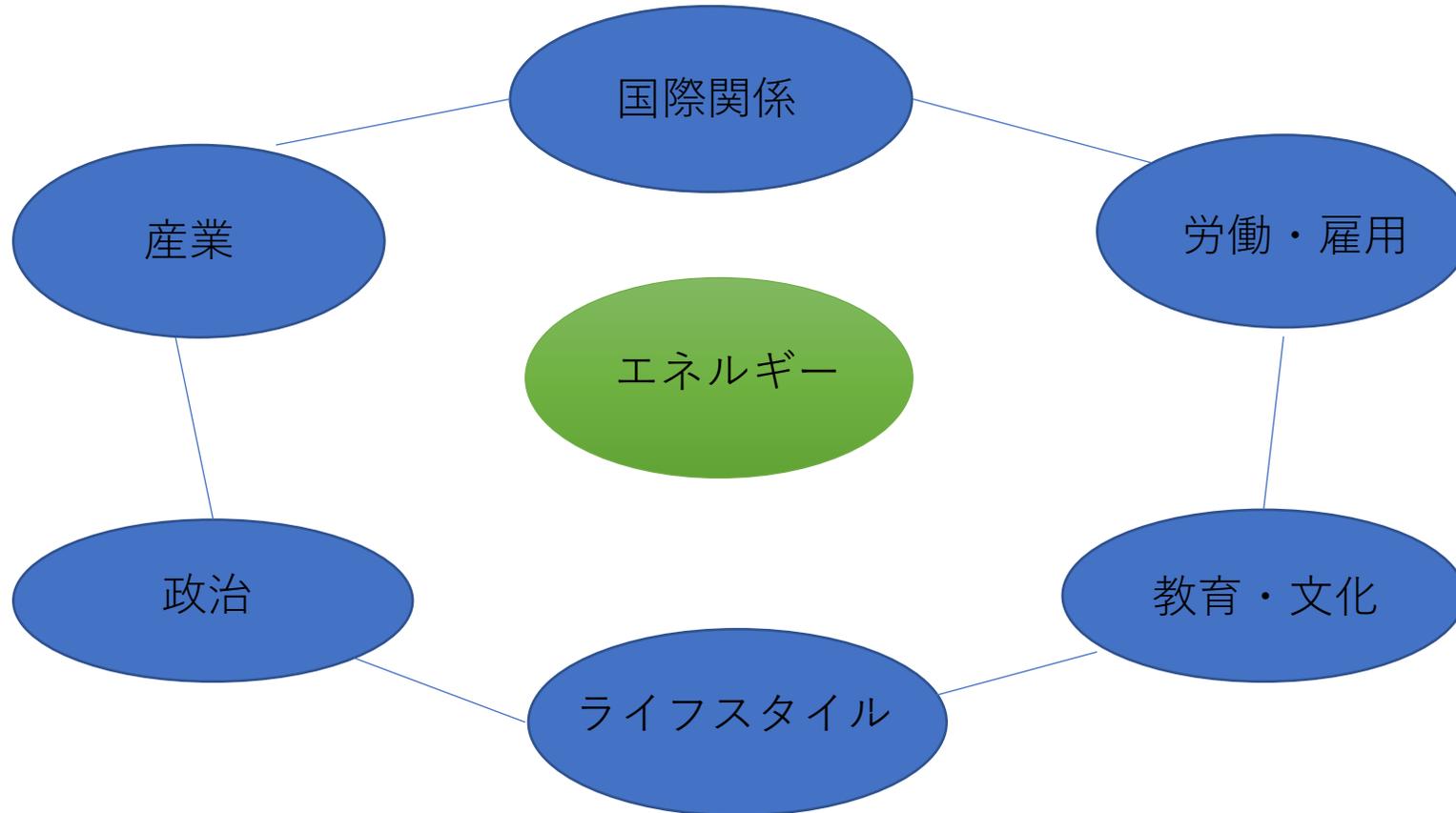
脱原発型社会

「中央集権・地域分断型社会」

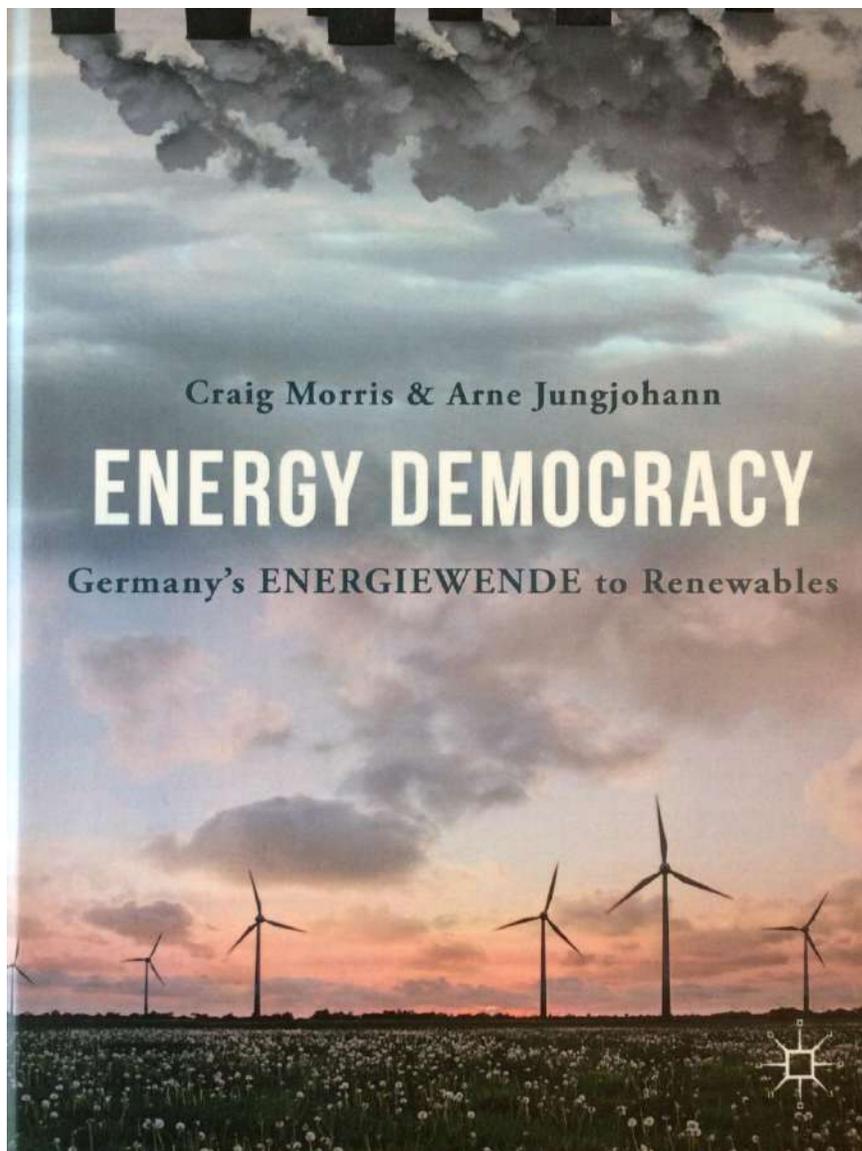


「地域分散・ネットワーク型社会」
(自治)

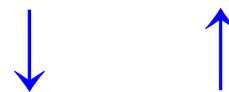
エネルギーを変えると社会が変わる。



“エネルギー・デモクラシー”（エネルギー民主主義）の可能性



民主主義の深化



エネルギーの民主化
(エネルギー転換)

再生可能エネルギーの導入は、世界的にも風力と太陽光がチャンピオン。石油や原子力中心のエネルギーからの転換は、地域の自立と地域分散ネットワーク型社会を実現する鍵となる。

エネルギー・デモクラシーの挑戦——コミュニティパワー

おらってにいがた市民エネルギー協議会 の誕生 2014年9月23日



行政との協力① 新潟市とのパートナーシップ協定調印式



【新潟日報】
2015.8.19 朝刊

2015年8月18日 協定締結

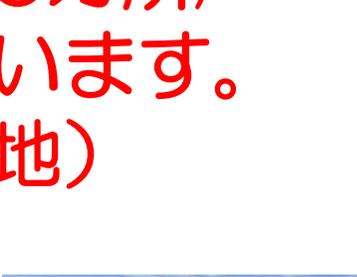
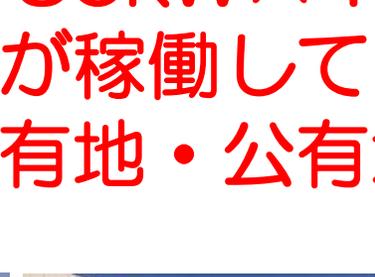
「持続可能な低炭素まちづくり推進のためのパートナーシップ協定」

行政との協力② 村上市とのパートナーシップ協定調印式



2018年3月23日 協定締結

「持続可能な低炭素まちづくり推進のためのパートナーシップ協定」



おらって市民発電所
(13~50kW×40カ所)
の発電所が稼働しています。
(民有地・公有地)

「ご当地エネルギー」と地域経済

従来の「植民地型」のエネルギーではない、「**地産地所有型**」エネルギーを創出し、地域のエネルギーに係る資金を地域に還元して、豊かな地域社会づくりを目指します。

【参考】新潟県で年間2500億円（家庭）の光熱費が地域外へ流出

- ①地域住民による地域エネルギー事業
- ②資金は地域で調達し、利益は地域へ還元
- ③工事・維持管理は地域の事業者
- ④事業利益は地域づくりに活用

おらって地域循環共生圏プロジェクト

産学連携観光開発スキーム

- 通常時のシェアリングに加え産学を結ぶ移動手段として活用。
- シェアリングの需要に連動して、温泉、大学でリーフを相互活用。
 - * 土日祝日大型連休時は温泉で観光用に、平日は教職員学生の移動手段として活用。
 - * eシェアモビステーションは温泉側に設置。



250 community powers

Niceko Obihiro

Kyotango Toyama

Takarazuk Takayama

Bizen

Hiroshima

Yamaguchi

Obama

Kumamoto Shizuoka Odawara

Shimokawa

Iitate

Minami-Soma

Yamagata

Niigata

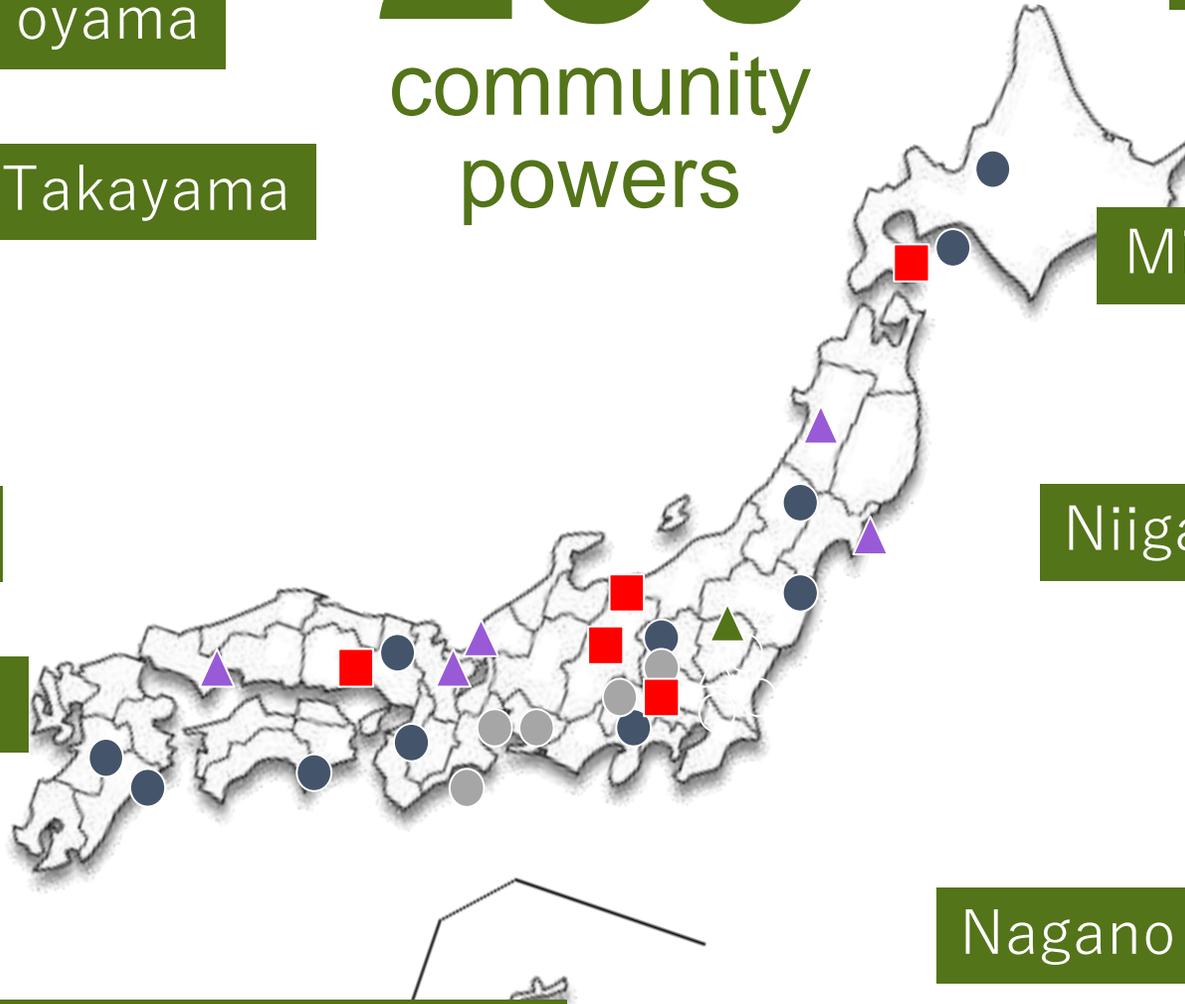
Aizu

Saitama

IIDA city

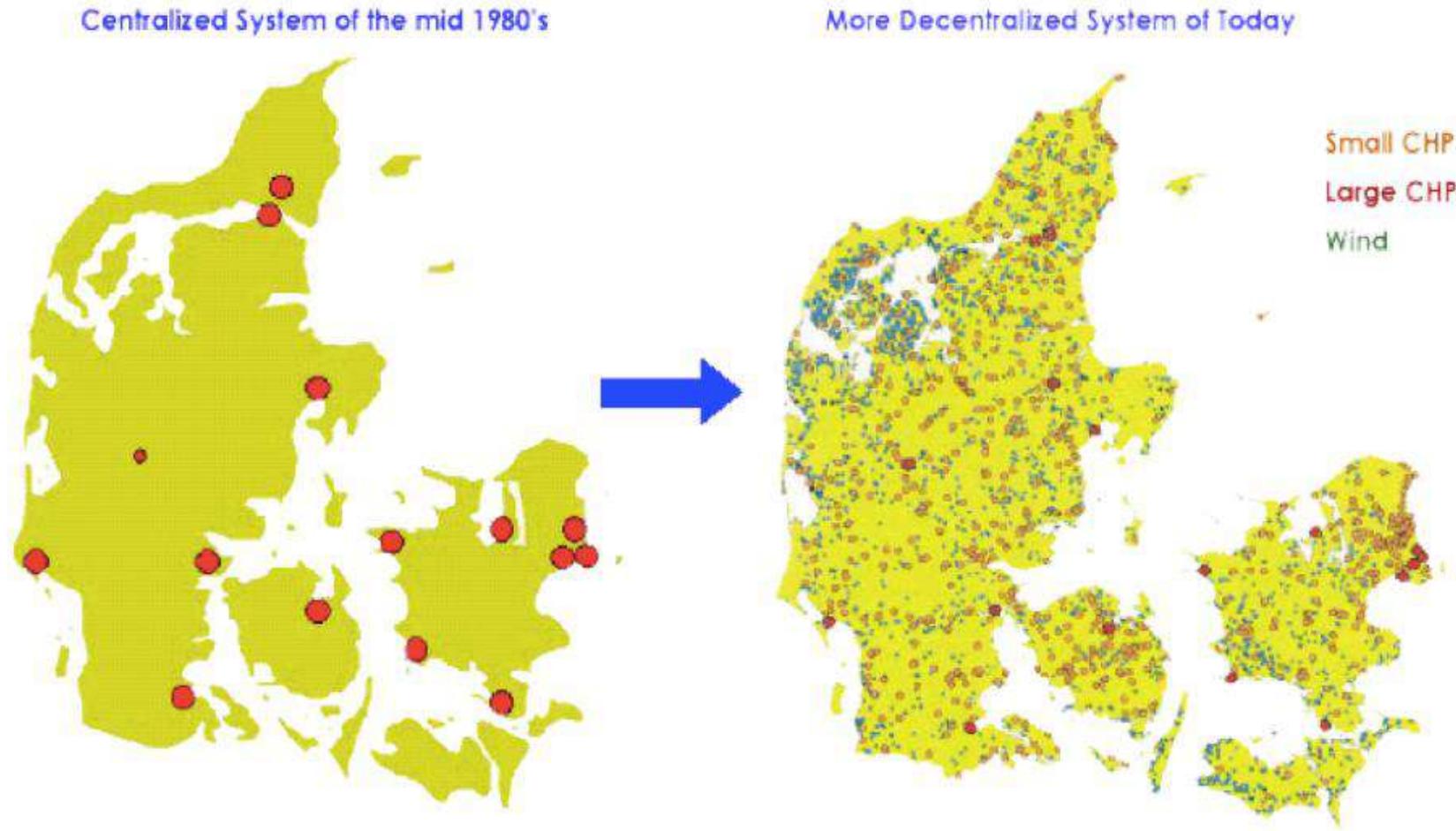
Nagano

Setagaya



例： デンマークのエネルギー供給の変化

1990年代（大規模火力発電） ⇒ 現在（風力とコジェネ）



「内なる無限」へ。——内村鑑三『デンマーク国の話』を再び。

おらって企画 世界幸福度ナンバーワンの国農業国デンマークに学ぶ 新潟の新しい未来



 世界幸福度ナンバーワンの国
デンマークに学ぶ、にいがたの新しい未来
おらっての対談：デンマーク大使 × 新潟県知事

2月14日(火)
15:45～17:30
会場：新潟自治会館 別館 9F ゆきつばき


JAPAN DENMARK 150 YEARS
(祝 150 周年 貿易自由貿易)

今年、デンマークと日本の国交樹立 150 周年に当たります。
世界幸福度ナンバーワンの国デンマーク(*)は、世界最良水準の教育を誇り、農業国でありながら、自然エネルギー大国、さらには日本の 1.6 倍以上の一人当たり GDP を生み出す産業先進国でもあります。
にいがたの新しい未来を考えるうえで、デンマークから学ぶことはとても多いと思います。
このたび、フレディ・スヴェイネ駐日デンマーク王国特命全權大使がお越しになるのを機会に、大使のご講演や米山隆一新潟県知事との対談を通じ、明日のにいがたについて市民のみなさんと一緒に考えたいと思います。
(*「国連世界幸福度レポート2016年」)

「デンマークに学ぶ、にいがたの新しい未来」

【第1部】 記念講演
フレディ・スヴェイネ駐日デンマーク王国特命全權大使

【第2部】 対談
テーマ『自然エネルギー、医療・福祉』など
スウェーデン デンマーク大使 × 米山新潟県知事

 駐日デンマーク王国特命全權大使
フレディ・スヴェイネさん

 新潟県知事
米山隆一さん

●参加費：一般 500 円 学生無料
●会場：新潟自治会館別館 9F (新潟市中央区新光町 4 番地 1)
コンベンションホール ゆきつばき
※お車で会場の方は自治会館または周辺の有料駐車場をご利用ください

■主催：(一社)おらってにいがた市民エネルギー協議会
■後援：新潟県・デンマーク王国大使館

〈申込み〉おらってにいがた市民エネルギー協議会 FAX 025-385-6097
氏名・電話番号を明記してメールまたはFAXにてお申込み下さい。


QRコード
をスキャン

「おらって」とは新潟の方言で「私たち」という意味です。市民が豊かになって、活気あふれる中から「市民発電所」を20箇所つくりました。未来の世代に誇りを持って、私たちが出来ることを模索し、実践していきます。
ホームページ www.oratte.org メール info@oratte.org



風力 ex.デンマーク サムソ島



地域熱供給事業 ex.デンマーク オールボー



「ソーラーシェアリング」の試み



日本

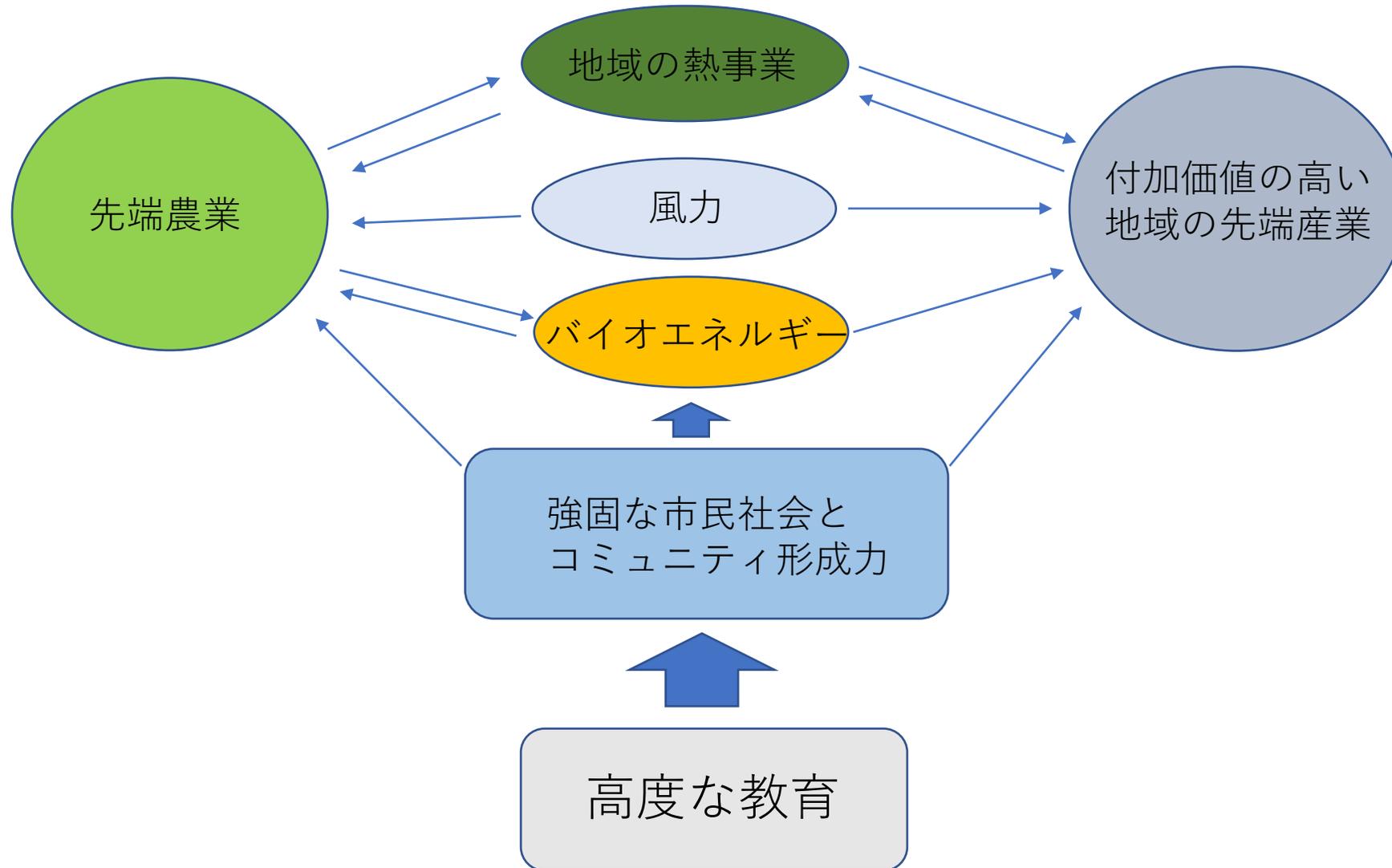
ドイツ



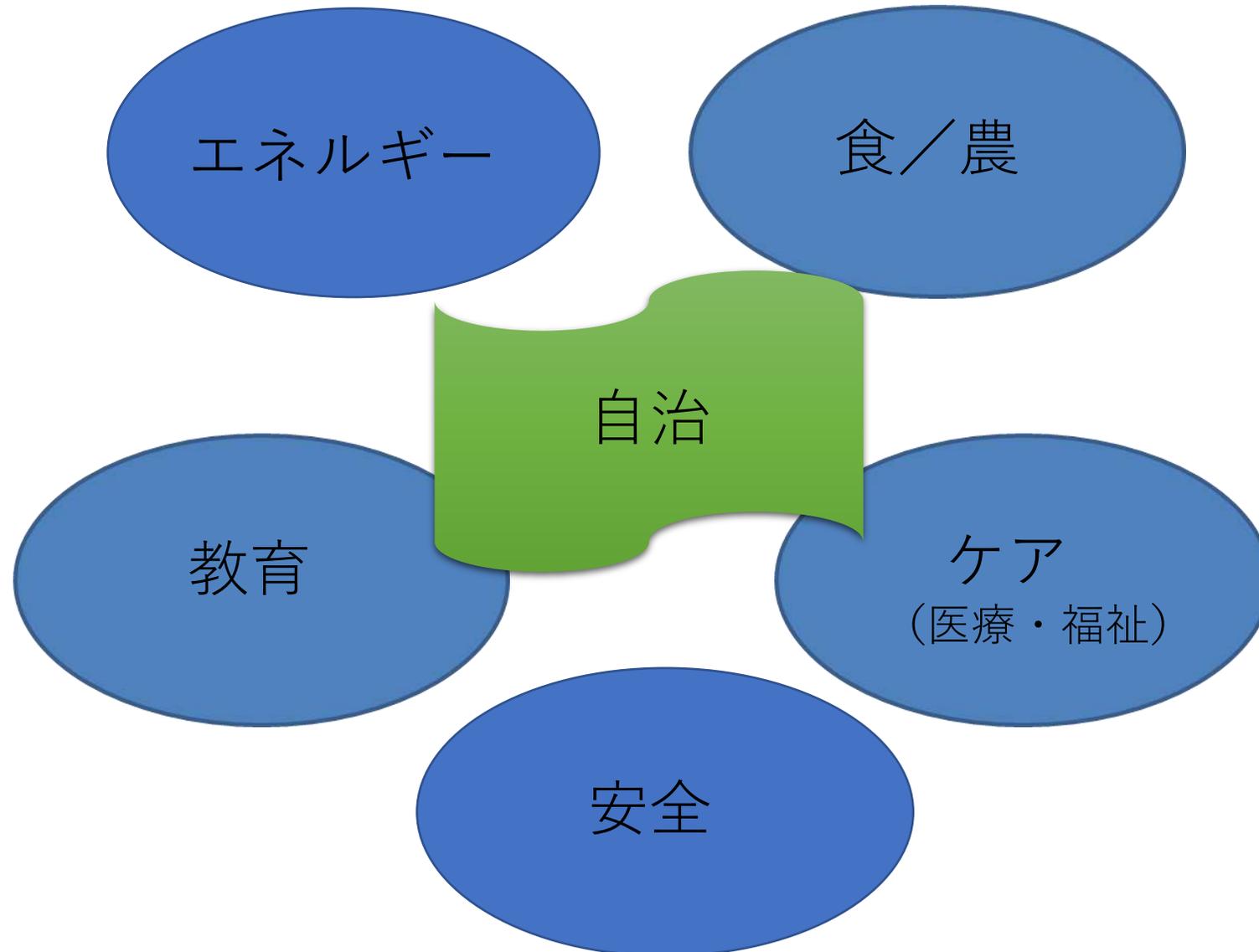


<自治>による新しい街づくり ex. ドイツ フライブルク

デンマークに学ぶ新しい社会 (高度な教育に支えられた脱原発型市民社会)



生きる上で必要な5つの要素をできるかぎり自立させる。



ご清聴ありがとうございました。